

会 議 要 旨

会議名	館山市図書館協議会
開催日	平成30年5月23日(水)
開催場所	館山市図書館
出席者	委員：大西純夫、石井紋子、鈴木健一、齋藤 実 生稲裕美、秋山雅夫、関 和美、安藤 深佳子 教育委員会：出山教育長 岡田生涯学習課長 図書館・渡邊館長、飯田管理係長、高橋主任司書
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 一部非公開 非公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0名
会議概要・結果等	<p>○職員紹介</p> <p>○議事</p> <p>事務局より説明</p> <ol style="list-style-type: none">1. 図書館の概要について2. 平成29年度事業報告について3. 平成30年度事業計画について4. 図書館の一部業務委託について5. その他 <p>質問・意見等</p> <p>〈開館75周年記念事業について〉</p> <p>○「図書館 de つながろう PROJECT)」と平成30年度の新規事業ブックツリーについて、詳しい説明をお願いしたい。</p> <p>→図書館は、単体で存在するわけではなく、色々な場所とつながりを持てるハブとして機能できる場所だと考えている。つながりというのは、本と利用者がつながるのはもちろんであるが、それだけではなく、図書館同士のつながりや利用者同士のつながりも持てたらいいと考えて、PROJECTを立ち上げた。</p> <p>新たなことを行うのではなく、今やっている事業をクローズアップし、館山市図書館に継続的に関わっているボランティア等の活動にも光を当てていきたいと考えている。</p> <p>ブックツリーについては、他の人の読んだ本に興味を持っている人は多いので、利用者間で共有できるように、自分の好きな本やおすすめの本を掲示できるようにしたい。秋の読書週間を予定している。</p>

〈ハッピーバッグ（本の福袋）の実施方法と予算について〉

○事業の実施にあたり、予算はどのように計上されているのか、本は新たに購入しているのか。

→予算については、事業費としての予算はなく、紙袋を消耗品費から購入しているのみである。紙袋の和柄模様は、千葉大学大学院デザイン文化計画研究室の協力による万祝の図柄をデジタル化したスタンプによるもの、また、付録としてつけた本が入るサイズの布袋は、他課からの活用できないかと声をかけてもらったものである。本についても、新たに購入するのではなく、既存のものを活用している。

〈レファレンスサービスの実施件数について〉

○資料3ページ、レファレンスサービスの件数はどのようになっているのか。

→簡易な内容も含む件数としては、全体で2,682件、内訳は、メール・文書は25件、口頭2,609件、電話48件となっている。

〈窓口の夜間延長について〉

○館山市では毎週木曜日に延長窓口を行っているが、鴨川市は利用者のニーズを確認するために、試行として、6月と10月に開館時間の延長を集中的に行う予定と聞いている。館山市でも同様な取り組みを行う予定はあるか。試行の結果、鴨川市が木曜日の延長に変更となったら、館山市の曜日の変更はあるか。

→今のところは、開館時間の延長を変更することは館山市としては考えていない。安房管内の鴨川市、南房総市、館山市の図書館の窓口延長の曜日は重なっていないが、事前に調整をして決定したわけではない。安易に変更することで、利用者の混乱を招く可能性があることから、現行のままで継続していく。

一部業務委託について

市公共施設管理計画、第3次行財政改革方針に基づき、カウンター、移動図書館業務等の一部業務委託を進めているが、現状としては、具体的な仕様を検討段階である旨の説明を行った。